

農業改良普及センターで働くおじさんの話



今ここでは、56人の人が働いています。いね、畑作物、花、くだものとそれぞれ分担しています。水やりや草刈り、か農薬散布のうやくさんぶなどの管理が大へんです。

でも、何ととっても苦勞することは、10年以上の長い期間にわたって、よい品種を作るために、種や苗をほぞんしなくてはいけないことです。それも1つや2つではなく、およそ1万個というものすごい数で、とても手間がかかります。だから、私が働いているときに、新しいものができることはほとんどないのでさびしいですが、何年かたって新しい品種ができるんだなあと思うと、やりがいのある仕事です。

▼いねの栽培試験の様子

